

ジンバブエにおける洪水及びサイクロン被害に対する緊急援助引渡式

3月20日、ハラレ国際空港の貨物倉庫にて、平石大使立ち会いのもと、当国政府に対して洪水及びサイクロン被害に対する緊急援助物資を引渡しました。このたびの緊急援助は、当国の水害に対し、ポリタンク800個、テント500帳、プラスチックシート40枚、浄水器40台を供与するものです。2016年11月末より降り続いた大雨により、ジンバブエでは、少なくとも246名が死亡、128名が重傷、1,576名が孤立しています。また、学校やダム等のインフラも破壊されており、ジンバブエ各地で甚大な被害が出ております。

緊急援助物資の引渡式には、カスクウェレ地方行政・公共事業・住宅開発大臣、チンゴジョ同省副大臣、吉新ジンバブエJICA支所長、その他当地国際機関代表等が出席しました。平石大使からは、東日本大震災をはじめとする自然災害の経験から、日本は、ジンバブエ人が直面する水害の困難さを理解しており、深い同情とお悔やみを申し上げると挨拶しました。また、カスクウェレ大臣からは、ジンバブエ人は、東日本大震災による津波や原発事故等の甚大な被害を受けたれた日本が、どのように災害を克服してきたのか、多くを学ばなければならないと述べられました。



会場にセッティングされた緊急物資と両国国旗



緊急物資に掲示された日本支援のロゴマーク



平石大使の挨拶



カスクウェレ大臣の挨拶



(左から) 当地UN代表、当地 UNICEF 代表、カスクウェレ大臣、平石大使、チンゴシヨ副大臣、JICA 支所長